

兄弟姉妹の皆様

私たちのローマのパパ様・フランシスコ教皇様は今回のシノドスにおいて、「第2バチカン公会議を見直し、立ち戻り、生かしてほしい」とメッセージをくださいました。

2022年待降節から、ミサの式次第が新しくなりました。これも、その新しい流れの一つです。

今回はサンパウロ発行 第2バチカン公会議 公文書全集 南山大学監修「第3章 その他の秘跡、および準秘跡」を解説します。

私たちも、ミサや祈りに主体的に関われるように、一緒に学びましょう。

尚、わかりやすい表現を用いるため、多くの資料を参考にさせていただいておりますことをはじめにお伝えしておきます。

主任司祭 ペトルス・ウィリー・ソバ・ドイ O.C.D.

第3章 その他の秘跡、および準秘跡

典礼憲章

③⑩ ～第二バチカン公会議公文書より～

司牧的価値：②⑨にあるように秘跡、および準秘跡の典礼は、よい心構えを持つ信者にとって、

その 生涯におけるほぼ全ての出来事 を「キリストの受難と死と復活」から

湧き出る神様の恵みによって「聖化する」ものです。

全ての秘跡と準秘跡は「キリストの受難と死と復活」から「その力」を得ます。

日々の生活の中で、物質的なものを正しく用いれば、わたしたちが聖化され、

神様を賛美する目的に向けることが出来ないものは殆どない のです。

(つづく)